

# 桐生繊維業界の実態

令和3年1月～12月

桐生市繊維振興協会

## 桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、令和3年1月～令和3年12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）  
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数		10 団体	
2. 産地収入			
(1)生産高	41 億	2,901 万円	
(2)加工高	11 億	6,509 万円	
(3)販売高	51 億	1,874 万円	
	計 104 億	1,284 万円	
退会団体の収入(推定:前年対比92%)	12 億	4,142 万円	
	計 116 億	5,426 万円	(前年対比 92%)
3. 組合員数(事業所数)		170 事業所	
4. 総従業員数(家族従業員含む)		1,234 人	
5. 一事業所当たり従業員数		7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高		6,125 万円	
7. 年度別産地収入高			
平成 23年 産地収入	258 億	0,221 万円	(前年対比100%)
平成 24年 産地収入	257 億	5,924 万円	(前年対比100%)
平成 25年 産地収入	261 億	8,835 万円	(前年対比102%)
平成 26年 産地収入	254 億	1,823 万円	(前年対比 97%)
平成 27年 産地収入	218 億	6,296 万円	(前年対比 86%)
平成 28年 産地収入	166 億	0,011 万円	(前年対比 76%)
平成 29年 産地収入	154 億	2,194 万円	(前年対比 93%)
平成 30年 産地収入	149 億	3,836 万円	(前年対比 97%)
平成 31年 産地収入	144 億	5,759 万円	(前年対比 97%)
令和 2年 産地収入	126 億	6,652 万円	(前年対比 88%)

## 1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				従業員 平均年齢 (歳)	
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			計 (人)
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	38	75	70	49	42	236	55
	内地協議会	39	57	69	46	37	209	59
桐生染色組合		12	103	59	4	4	170	51
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		8	28	62	6	7	103	51
桐生糸商組合		7	18	8	1	6	33	47
桐生刺繍商工業協同組合		36	65	100	60	63	288	59
東日本編レース工業組合		4	44	25	3	2	74	51
桐生紋紙組合		8	2	0	4	2	8	68
東毛ジャカード刺繍協同組合		6	3	3	6	6	18	62
桐生織物商友会		7	17	29	1	7	54	53
桐生テキスタイル商業グループ		5	22	14	1	4	41	53
合計		170	434	439	181	180	1,234	

### 注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。  
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。  
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生燃糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成28年 3月30日 桐生意匠組合 退会。
- (11) 平成31年 3月31日 桐生織物産地元売組合 退会。

## 2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	141,199	11,232	152,431	85	0	100
	内地協議会	26,940	-	26,940	69	0	100
桐生染色組合		-	33,320	33,320	98	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		81,000	36,513	117,513	72	11	89
桐生刺繍商工業協同組合		21,390	34,730	56,120	115	40	60
東日本編レース工業組合		129,953	-	129,953	95	16	84
桐生紋紙組合		2,600	-	2,600	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		9,819	714	10,533	104	2	98
合 計		412,901	116,509	529,410	86	13	87

## 3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生系商組合	283,000	95	70	30
桐生織物商友会	147,000	111	15	85
桐生テキスタイル商業グループ	81,874	95	1	99
合 計	511,874	99	43	57

#### 4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	144,044	94	8,387	6	152,431
	内地協議会	26,940	100	-	-	26,940
桐生染色組合		33,320	100	-	-	33,320
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		115,013	94	2,500	6	117,513
桐生糸商組合		254,700	90	28,300	10	283,000
桐生刺繍商工業協同組合		56,120	100	-	-	56,120
東日本編レース工業組合		129,753	99.8	200	0.2	129,953
桐生紋紙組合		2,600	100	-	-	2,600
東毛ジャカード刺繍協同組合		10,533	100	-	-	10,533
桐生織物商友会		147,000	100	-	-	147,000
桐生テキスタイル商業グループ		73,687	90	8,187	10	81,874
合計		993,710	95	47,574	5	1,041,284

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		80	4	11	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		34	49	2	15	
桐生染色組合		合織	再生繊維	絹	綿・ウール	
		77	12	3	8	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		25	5	3	4	63
桐生糸商組合		ポリエステル	アクリル	ナイロン	レーヨン	絹・綿・その他
		40	15	20	3	22
桐生刺繍商工業協同組合		婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
		8	8	22	10	52
東日本編レース工業組合		インテリア	産業資材	衣料		
		64	25	11		
桐生紋紙組合		エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
		25	60	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合		ワッペン	Tシャツ	ワッペン・イント刺繍	その他の布帛	プリント加工
		84	3	11	1	1
桐生織物商友会		二次製品	和装小物	帯・着尺	その他	
		80	10	5	5	
桐生テキスタイル商業グループ		服地	ニット	その他		
		65	30	5		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	42
		自動織機（片レピア含）	128
		超自動織機（レピア）	324
		計	494
	内地協議会	広幅織機	6
		並幅織機	245
		小幅織機	36
		自動・レピア織機	40
		計	327
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	50	
	高圧噴射式染色機	5	
	汎用染色機	5	
	チーズ染色機	30	
	高圧液流染色機	30	
	計	120	
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン（特殊含）	65	
	プレス	1	
	その他	44	
	計	110	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	40	
	多頭式ミシン	350	
	計	390	
東日本編レース工業組合	ラッセル機	101	
	計	101	
桐生紋紙組合	デザインシステム	13	
	横彫カード・エンドレス	7	
	カードパンチ機	6	
	ワンパンチ	2	
	計	28	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	12	
	プレス	2	
	本縫いミシン及びその他の機械	12	
	パンチング製版及びプリント機	3	
	計	29	

7. 最近の推移（R3年10月～R4年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比 （％）	増	変わらず	下降	前年対比 （％）
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	85		○		100
	内地協議会			○	69		○		100
桐生染色組合				○	95		○		100
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		○			105		○		100
桐生糸商組合				○	90		○		100
桐生刺繍商工業協同組合		○			115		○		100
東日本編レース工業組合				○	95		○		100
桐生紋紙組合				○	80		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	94		○		100
桐生織物商友会		○			103	○			105
桐生テキスタイル商業グループ				○	95	○			105
合計		3	0	8		2	9	0	

## 8. 商品 消費者ニーズの変化について、令和3年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

### 桐生織物協同組合

#### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 洋装部門の国内向けニーズは、引き続き新型コロナウイルスによる活動自粛などが大きく影響している。服地の受注は最小限に抑えられ、年明けからの感染拡大により先行きが見通せない。比較的早期に感染を抑え込み、経済活動を再開している中国市場では回復の兆しもみられる。
- ・ 和装部門については、以前より台風や豪雨の影響で夏物製品の需要が減少傾向にあったが、さらにコロナウイルスの影響で、祭り等の行事の中止が続き、消費者のニーズの冷え込みが続いている。また、カジュアル指向の絹製品も同様に、コロナ禍で必要性和販売の機会が失われているなど、ニーズは極端に減少している。しかしながら、フォーマルでは、比較的コロナの影響が少ないとされる七五三関連の製品については、その減少幅はわずかながら少ない。

#### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 洋装部門として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2022AWを開催。また、12月にはJFW ジャパンクリエイションへの出展をした。輸出向けとして、7月にミラノで開催される予定だったミラノウニカは出展をとりやめた。SNSやウェブサイトによる情報発信に加えて、産地ブランディングを推進する方法について検討をすすめている。
- ・ 和装部門については、前半はコロナ禍により極端に厳しい商況であったが、後半にはコロナウイルスが一旦収束の兆しが見えたため、10月から11月にかけては、流通への商戦が始まりかけた。しかしながら12月には活発化したコロナウイルスの影響で、関連する全ての商品の動きが鈍化した。このような厳しい状況下、一部内容を変更するものもあったが、計画していた新製品の開発事業や販路開拓事業など、直接販売に関する事業はすべて積極的に展開した。

#### 今後の課題

- ・ 洋装部門として、独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくとともに、多様化する市場ニーズに対応し、幅広い顧客に対してアプローチしていく必要があると考えられる。
- ・ 和装部門については、積年の課題となっている和装離れの歯止めをはじめ、織機等の部品の枯渇問題や関連工程の技術者不足など、取り組む課題は少なくない。さらに新型コロナウイルスによる影響への対策や、コロナ後に備えた商品作りなど、課題は多くなるばかりである。

## 桐生染色組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 全体的には回復傾向ではあるが、まだまだコロナ感染症の影響が大きい。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 年間をとおしてコロナ感染症の影響が大きかった。
- ・ 受注面では若干回復傾向。加工料のUPはなかなか難しい。

### 今後の課題

- ・ ウクライナ、ロシアの関係で燃料単価が大幅にアップして経営を圧迫している。  
例)A重油 (前年¥50→80)ℓ  
桐生ガス(前年¥70→110)㎡)
- ・ 染料・助剤メーカーから各種薬剤のアップの依頼が多い。  
例)10～15%アップ
- ・ 各組合員の努力を上回る原料価格高騰により、社内で吸収できなくなっている。
- ・ 早急な価格(加工料)改定が必要。

## 桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナ禍で家時間が増えた事や、キャンプ、ゴルフなどの人口増により、これらに関連するアイテムなどの引き合いが増え、既存のアパレルアイテムなどは減少が続いている。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 昨年同様に、海外からの人流が止まってしまっている事により、当組合の中心事業である外国人技能実習生事業は大変厳しい状況が続いた。ただ、登録支援事業は国内の特定技能者などの支援が増え、今後も増加が期待される。

### 今後の課題

- ・ 業界としては縮小が続いているが、ウクライナとロシアの戦争やコロナによるサプライチェーンの変化が求められている中に、何か商機を得る事が出来るのではと考える。課題は人材をいかに確保するか、組合としては国内、海外の人材を問わず色々な人材情報の提案、人材確保の手助けをしていきたい。

## 桐生系商組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナ禍の影響を受け、対面販売店向けの生産は減少している。通販店向け生産は増加しているが、元来、通販店は海外生産が主流の為、大量増加にはなっていない。  
資材向けは比較的安定している。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ ファッション業界向け原系販売については、コロナ禍の為、減少した。更に後半期には、綿やその他の天然素材の価格上昇や、銘柄によっては欠品となるなど、苦しい状況が続いた。  
資材向けは、新規の受注がある反面、従来品の減少も有り、増減のない状況であった。

### 今後の課題

- ・ 令和4年以降は、綿糸を始めとする天然素材の入荷が、対ロシア政策の影響下では滞る気配があるが、反面世界的に供給不足になる品物に対しては、海外からの新規受注もあると考えられる。  
この期こそ、少し先を見た仕入れと販売が必要となるのではないだろうか。

## 桐生刺繍商工業協同組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 販売形態が店頭からネット販売に比重が移りつつある。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 引き続きコロナ禍ではあるが、ネット販売や経済をまわす政策などにより、前年より少しずつ仕事量は増えつつあるが、資材コストの上昇や送料のアップにより収益は厳しいものがある。

### 今後の課題

- ・ 技術者の高齢化による人材の確保。後継者不足等。

## 東日本編レース工業組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナがなかなか終息しないため小売店の閉鎖も多く衣料、カーテン共に需要が落ち込んでいる。廉価版か、手間のかかる商品に二極化している。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 円安 原油高により、原材料 整理加工代の大幅値上げが求められている。

### 今後の課題

- ・ コストの大幅アップを価格に転化することが必須であり、より付加価値の高い商品開発が重要である。

## 桐生紋紙組合

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 昨年に続きコロナ禍の影響などで、新規の開発依頼などの減少が続いている状況。

### 今後の課題

- ・ 従事者の高齢化と減少が進んでいる為、後継者の育成をどうするかが課題と思われる。また、設備のメンテナンスが困難になりつつある。

## 桐生織物商友会

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 巣ごもり需要関連商品は、コロナ禍前に戻った印象です。イベント関連商品は、相変わらず低調に推移している模様です。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 昨年度記載させて頂いた事と同様に、コロナ禍の影響で好不調の業種に分かれる傾向にあると思われます。

### 今後の課題

- ・ アフターコロナもしくはウィズコロナの世情を捉え、新規な対応(商品開発、販売方法、等)がより求められると思われれます。

## 桐生テキスタイル商業グループ

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 消費者が服を買わない傾向が強くなってきた。統計の条件によるが、買い回り商品の買い控えの傾向が強くなってきている。百貨店などでは、高級商品の需要ははまだ旺盛であるが、食料品全般に値上げが進み、必需品である食品の支出が多くなっていることが、需要旺盛の原因と考えられる。一方で、コロナ対応の慣れから、ファッションへの興味も回復する兆しも見え始めている。

### 令和3年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 10月から12月がオミクロン株のピークで、これに呼応して商談件数も減少し始め、12月が底であり、安い商品を大量に販売するビジネススタイルは、影をひそめてしまった。このような環境の中「サステイナブル」の考え方が広がりを見せている。この考え方は、商品企画から消費までの基本となってきたと思われ、洋服素材に関しても大きく影響してきている。同時に原料の高騰が続いていて、原料価格が上がっても販売商品に転嫁できていない。また、コスト削減のためスタッフを減らす傾向も発生しており、このような環境で推移したため新しい投資が進められない状況にあった。

### 今後の課題

- ・ 非接触と販路拡大のため「EC販売」を拡大できるかが課題となると思われる。情報伝達手段が「Instagram」などのSNSへ大きく変化をしつつある。従来の経験主義から若手の情報取得手段を参考に、若手を起用して考え方や行動を業務に取り入れることが変革をもたらすカギとなると思われる。また、百貨店にも新しい考え方を持った顧客が現れ始めている。顧客の流れも変化しつつある。

以 上

## 桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	小林 雅子	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	塚本 幸司	桐生市堤町1-7-9 塚本染色(名)内	22-7771
桐生商工会議所 繊維部会	柳 明彦	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡部 利明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生糸商組合	川村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村田 欽也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	周東 直樹	桐生市広沢町5-1675-1 (有)周東紋切所内	54-1949
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和田 貞之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	泉 太郎	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
起龍	丸山 裕	桐生市東7-1-8 ミツミテニー(株)内	44-3027

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300